

# めぶきニューヨークレポート

## MEBUKI NEW YORK REPORT

2019年4月号

- ◇ 【視察レポート】ボストンにおける水産専門見本市の様相・・・・・・・・・・ P. 1
- ◇ 【トピックス】注目される新規上場企業・・・・・・・・・・ P. 3
- ◇ 【NYライフ】DAISO ニューヨーク進出・・・・・・・・・・ P. 4
- ◇ 【米国マーケットレポート（3月）】・・・・・・・・・・ P. 5
- ◇ 【ニュース一覧】・・・・・・・・・・ P. 6

常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所  
712 Fifth Avenue 8<sup>th</sup> FL  
TEL : +1-347-686-8420  
E-mail : newyork@joyobank.co.jp

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願い致します。

発行元：常陽銀行市場国際部



## 視察レポート

### ーボストンにおける水産専門見本市の様態ー

毎年ボストンにて開催される「Seafood Expo North America」は北米最大級の水産専門見本市です。今回は 3/17（日）～19（火）の会期で開催された本見本市の様態についてレポートします。

#### 1. 本見本市の概要

「Boston Convention & Exhibition Center」にて毎年この時期に開催される水産専門の見本市です。世界三大水産見本市(\*)の一つとされ、米国市場への販路拡大を目指す企業にとって効果的な見本市であり、毎年世界中から水産関連企業とバイヤーが集まり、大いに賑わいます。

(\*)本見本市のほか、ブリュッセル(ベルギー)の「Seafood Expo Global」、青島(中国)の「China Fisheries & Seafood Expo」を総称して世界三大水産見本市といわれています。

出展対象品目は、水産食品(活魚、鮮魚、冷凍等)、設備・機器(食品加工機器、冷凍・冷蔵機器・設備)、包装、贈答品、関連サービスであり、今回は世界 49 カ国から 1,329 社の出展があり、来場者は 2 万人以上となった様態です。

#### 2. 会場内の様態

会場内の雰囲気は「国際色豊か」の一語に尽きます。出展者はもとより、世界各国から集まる来場者からもビジネスへの意気込みが感じられ、各ブースの奥に設けられているスペースでは真剣に商談を行っている光景がありました。ブースは構成や展示方法についてもよく考えられており、色合いも豊かに展示されており、来場者の興味を惹くものばかりでした。ブースに展示されている水産物の種類としては、まぐろ、サーモン、蟹、ロブスター、貝類等が多かったとの印象を受けました。【写真 1】 【写真 2】

また、日本貿易振興機構(JETRO)では本見本市に「ジャパンパビリオン」(国内企業ブース)を設置し、日本の水産品および水産加工品の魅力を世界にアピールしています。日の丸をモチーフとした看板と白木で組まれた屋根は、シンプルでありながら人目を惹く存在感を醸していました。今年には日本国内 16 社による水産物・水産加工品の展示が行われ、職人による握り寿司の実演、試食会の周りには多くの来場者で賑わっていました。【写真 3】

【写真 1】



【写真 2】



【写真 3】



### 3. 水産物以外の展示

本見本市で展示されているものは水産物やその加工品だけではありません。加工するための機械や、商品を運搬するための冷凍車に至るまで、その展示物は多岐に渡ります。

例えば、日本の機械メーカーが「組合せはかり」という機械を展示していましたが、これは個々に重量の異なるカット物やバラ物等を、指定した一定の重量に纏めて詰めるものです。なお、計量の対象は水産物に限ることなく、農産品等であっても対応可能となっています。【写真4】

また、英国に本社を持つ機械メーカーは水産加工品を真空パックにする機械を展示しており、真空中でパッケージすることにより、冷蔵の状態で長期間保存が可能となり、米国内陸部等への陸路での輸送にも十分に対応できるものとなっています。【写真5】 【写真6】

【写真4】



【写真5】



【写真6】



### 4. まとめ

海外における水産物、水産加工物を食材とする日本食文化の浸透は、もはやブームと呼ばれる時代を過ぎ、人々の食生活に定着していると言っても過言ではないでしょう。本見本市が毎年ここまでの活況を呈していることから、世界中で水産物・水産加工物のニーズの高まりを窺い知ることができます。

とりわけ、日本ではその水産資源へのアクセスの優位性から、古くから魚の文化を有しており、世界中で高まる水産物・水産加工物へのニーズに対応し、海外に販路を拡大していく余地は十分にあるものと思われます。今後の業界動向に注目されます。

以上

【ニューヨーク駐在員事務所 首席駐在員 飯塚 藤郎】

## トピックス

### －注目される新規上場企業－

米国株式市場ではシェアリングサービス企業など最新のテクノロジーを活用し、ここ数年で急成長している企業の上場が注目されています。今年上場が期待される主な企業についてレポート致します。

#### 1. 新規上場企業および新規上場期待企業

ライドシェアの Lyft が 3 月 29 日に上場するのを皮切りに、以下の通り、Uber など大型上場が期待されています（3 月 25 日現在）。

企業	推定企業価値	概要
Uber (ウーバー)	1,200 億ドル (13.2 兆円)	ライドシェア最大手企業。世界 70 カ国、450 都市以上で事業展開。4 月に IPO 申請する可能性あり。先に上場する Lyft の株価動向が影響すると見られる。ソフトバンク、トヨタ自動車などが出資。
Airbnb (エアビー アンド・ビー)	400 億ドル (4.4 兆円)	ホームシェアリング企業最大手。世界 192 カ国、33,000 以上の都市で宿を提供。既に黒字化を達成しており、昨年には新 CFO として Amazon の副社長をスカウトに成功し、次の展開が期待される。
Palantir (パランティア)	400 億ドル (4.4 兆円)	ビッグデータ解析、不正取引検知などをサービスとして提供。もともと Paypal の不正利用検知システムから事業を開始。CIA など米国の重要機関も利用。推定企業価値の評価は市場でばらつきあり。
Lyft (リフト)	200 億ドル (2.2 兆円)	NSDAQ に 3 月 29 日上場のライドシェア企業。北米のみ 300 以上の都市でサービスを提供。Uber と Lyft で米国のライドシェアをほぼ独占 (Uber 約 70%、Lyft 約 30%)。楽天が出資。
Pinterest (ピンタレスト)	130 億ドル (1.4 兆円)	米国で Instagram と並んで人気のある写真共有サイト。4 月に新規上場予定。月間アクティブユーザーは 2.7 億人と着実に増加。楽天が出資。
Instacart (インスタカート)	80 億ドル (8,800 億円)	食料品の即日配達サービス。Amazon の即日サービスに対抗する手段として食料品店に利用されている。全米 300 以上の食料品店と提携し、1 時間以内配達などのサービスを提供。
Slack (スラック)	70 億ドル (7,700 億円)	ビジネスチャット運営最大手。1 つの画面上で、設定した全員が会話できるチャット機能を備える。チャット機能と連携できる技術を持つ企業への投資も積極的。ソフトバンクが出資。

(注) 推定企業価値の円換算 1 ドル=110 円で計算

#### 2. 市場参加者の見方と今後の注目

ビッグデータ解析や AI、ネットワークなどの活用により、市場を効率化するテクノロジー企業への期待は依然として高いことが、推定企業価値からも伺えます。今後もテクノロジー企業が株式市場の活性化をサポートすると思われそうですが、一方で、今後上場する企業が市場の期待に応え、着実に業績を伸ばしていけるか、市場の注目は高まりそうです。

【ニューヨーク駐在員事務所 高信 喜博】



— DAISO ニューヨーク進出 —



日本の大手 100 円ショップ「DAISO」（ダイソー）は 3 月 8 日ニューヨーク、クィーンズ区のフラッシングにあるスカイビューセンター 4 階に東海岸 1 号店をオープンしました。

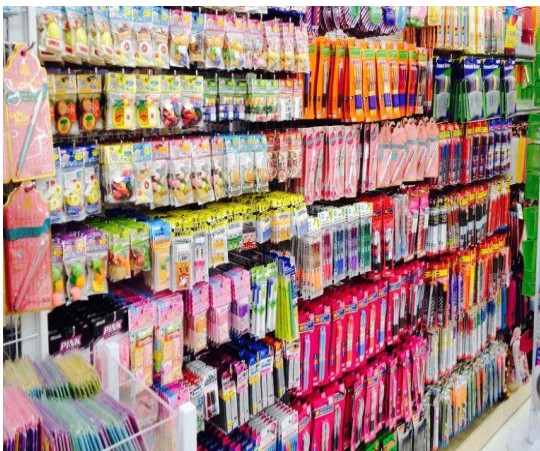
オープン初日はテープカットのほか太鼓のパフォーマンスや先着 100 名にギフトバックの贈呈も行われることもあり、4 階のフロアを埋め尽くすほどの人だかりができ、最前列で朝 4 時から待っていたブロンクスから来た少年がにこやかにインタビューに答える様子等が地元 NBC ニュースで報道されました。

フラッシングはクィーンズのチャイナタウンと呼ばれる地域で、周辺のお店にも中国語の看板が立ち並んでいます。今回のニューヨーク初出店をフラッシングに決めた理由の 1 つに、地域住民からの多くのリクエストが寄せられた事からも、日本の製品に対する人気ぶりが伺えます。

また、人気ユーチューバー Safiya Nygaard さんが DAISO のメイク用品を使用した「100 円ショップメイクアップチャレンジ」の動画が再生回数 900 万回を超えるなど、認知度は非常に高く、オープンから 2 週間がたっても、週末に訪れると 200 人以上が約 380 平方メートルの店内にひしめく盛況ぶりをみせていました。

平均価格は 1.99 ドルで日本での平均価格 100 円、ロサンゼルス店の平均価格 1.50 ドルよりも若干高めの設定になっていますが、店内にはお菓子、キッチン用品、化粧品や文具まで 6000 から 7000 種類の商品が揃い、毎月 100 種類の新商品が追加されます。

DAISO は年内にニューヨークエリアで 7 店舗のオープンを予定しています。



【ニューヨーク駐在員事務所 尾崎 佳】

## 米国マーケットレポート (3月)

### ○マーケット情報

市場	指標	3月末	2月末	月間騰落額	月間騰落率
株式	NYダウ	25,928.68	25,916.00	+12.68	+0.0%
	ナスダック	7,729.32	7,532.53	+196.79	+2.6%
債券	10年債利回り	2.41	2.72	▲0.31	▲11.4%
為替	ドル/円	110.86	111.39	▲0.53	▲0.5%
	ユーロ/ドル	1.12	1.14	▲0.02	▲1.3%
商品	原油先物(WTI)	60.14	57.22	+2.92	+5.1%
	金先物	1,298.50	1,316.10	▲17.60	▲1.3%

出所: Bloomberg

### ○米国市場の概況 (3月)

#### 【株式市場】ハイテク関連が底堅く推移し、ナスダックは+2%

3月の株式市場は、アップルを中心にハイテク関連が底堅く推移したが全般的には上値の重い動き。19、20日開催のFOMCでは市場予想よりもハト派な内容から、公益やエネルギー関連がプラスとなるも、金利の大幅低下から金融株を中心に下落。また、月末にかけては欧州指標の悪化を嫌気した。

#### 【債券市場】10年債利回り一時2.3%台に大幅低下

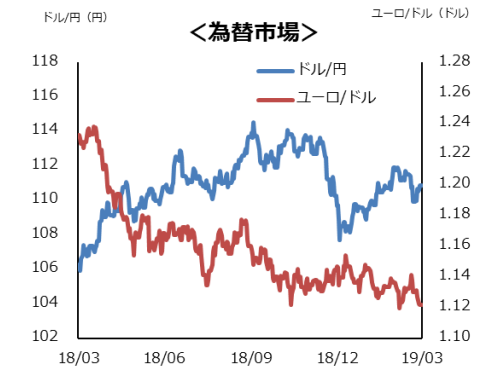
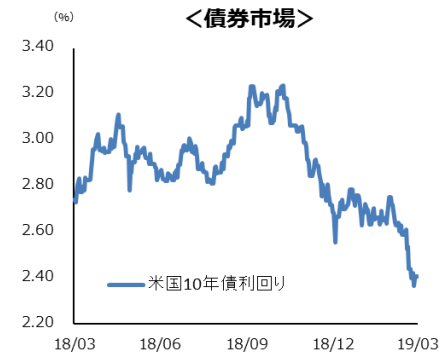
3月の債券市場は、19、20日のFOMCにおいて、2019年、2020年の利上げ見通しを下方修正。また、9月末でバランスシート縮小を停止するとしたことから、市場予想よりもハト派な内容と受け止められ、ポジション調整の動きも巻き込んで10年債利回りは2017年12月以来、2.40%を下回る水準まで低下した。

#### 【為替市場】ドル/円は方向感に乏しい展開

ドル/円は、FOMC後に株が不安定な動きをしたことから、リスク回避の円買いの動きが一時優勢となり、110円を下回る場面も。しかし、その後は株式市場が底堅く推移したことや、25日にトランプ大統領の2016年大統領選挙におけるロシア疑惑について証拠が確認出来ないとのヘッドラインを受け、米ドルは上昇に転じた。

#### 【商品市場】原油価格は60ドル台を回復し、上昇トレンド継続

米WTI原油価格は、米国による対イラン、対ベネズエラへの制裁などに伴う原油供給減少懸念が意識された。また、米国の石油掘削リグ稼働数が減少したことも原油の上昇をサポートした。



## ニュース一覧

(2019年3月のニュースを抜粋、日付はBloomberg掲載日であり、あくまで参考となります)

### ●経済(発表順)

- ・ISM製造業景況指数:2月は54.2(予想55.8)と弱い動き(3/1)
- ・非農業部門雇用者数:2月は前月比+2.0万人(予想+18.0万人)と弱い内容(3/8)
- ・失業率:2月は3.8%(予想:3.9%)と低下。賃金は前年比+3.4%(予想+3.3%)と上昇(3/8)
- ・小売売上高:1月は前月比+0.2%(予想:+0.0%)と改善も12月は下方修正(3/11)
- ・消費者物価指数(除食品・エネルギー):1月は前月比+0.1%(予想+0.2%)と弱い動き(3/12)
- ・鉱工業生産:2月は前月比+0.1%(予想+0.4%)。機械が▲1.9%と低迷(3/15)
- ・ミシガン大学消費者マインド指数:3月は97.8(予想95.6)、前月から改善の動き(3/15)
- ・中古住宅販売件数:2月は551万戸(予想510万戸)と大幅に上回る内容(3/22)
- ・GDP 確報値(4Q:10-12月):前期比+2.2%(予想+2.3%)に下方修正(3/28)

### ●金融政策(米国・欧州)

#### (米国)

- ・FOMC:年内の利上げ見通しはゼロ、景気判断の引き下げ、資産縮小は9月に停止(3/20)
- ・パウエルFRB議長:バランスシートは年末に3.5兆ドルを若干上回る水準へ(3/20)
- ・エバンス・シカゴ連銀総裁:インフレの勢いが増せば追加利上げの必要も(3/25)

#### (欧州)

- ・ドラギECB総裁:マイナス金利のプラス効果は維持しなければならない(3/27)
- ・ドラギECB総裁:ECBは目標を達成するまで手段に事欠かない(3/27)

### ●政治(米国・欧州)

#### (米国)

- ・米貿易赤字、10年ぶり高水準、トランプ政権下でも拡大(3/6)
- ・米中首脳会談4月実施も、貿易協議の調整難航(3/9)
- ・北朝鮮、最後に譲歩の提案も米が拒否(3/9)
- ・モラー特別検察官の捜査終了、大統領は完全な潔白を主張(3/25)

#### (欧州)

- ・英議会、メイ首相のEU離脱案を286対344で否決(3/29)
- ・メイ首相、法的なデフォルトは4月12日のEU離脱(3/29)

### ●企業関連

- ・ボーイング:株価が2001年以降で最大の下落。エチオピア航空機墜落を受け(3/11)
- ・アップル:アップル株上昇。4カ月ぶり高値。アナリストが強気な姿勢(3/21)
- ・リフト:米配車大手リフトが上場。IPO価格は仮条件レンジの上限に(3/29)

(出所:各種新聞、ブルームバーグ等)